

令和8年1月27日

茂原市役所 教育委員会 生涯学習課

電話：0475-20-1559 FAX：0475-20-1607

水墨画教室の開催について

標記の件について、別紙のとおり、王子江画伯による、水墨画教室が開催されます。

画伯は、平成8年「王子江の絵を茂原市立美術館に寄贈する会」により「雄原大地」が、茂原市立美術館・郷土資料館に収蔵となり、NHKドキュメンタリーにて放送、一躍脚光を浴び、現在は市内にアトリエ・ギャラリーを構えております。

この度、画伯のご厚意により茂原小学校6年生を対象にした水墨画教室が行われることとなりましたのでお知らせします。

〈この件に関する問合せ先〉

茂原小学校 教務主任 大塚 久美子 TEL：0475-23-5155

水墨画教室(6年生)

- | | | | |
|---------|--|-----------|--|
| ○ 実施日時 | 令和 8 年 2 月 3 日（火） 1 3 時 3 0 分～ 1 5 時 0 0 分 | | |
| ○ 展開場所 | 茂原小学校 体育館 | | |
| ○ 講師 | 王 子江 画伯 | | |
| ○ 事前打合せ | 1 月 2 7 日（火） 1 5 : 0 0 体育館にて 来校手段確認 | | |
| ○ 当日の流れ | 1 3 時 1 5 分 | 講師来校 校長室へ | |
| | 1 3 時 2 5 分～ | 体育館へ移動 | |
| ○ 授業日程 | 1 3 時 3 0 分 | 講師紹介 大塚 | |
| | 1 3 時 3 5 分～ | 授業展開 | |
| | 1 4 時 4 0 分 | 6 年生お礼の言葉 | |
| | | 片付け | |

おう すこう

王 子江 (1958～) 水墨画

昭和 33 年、中国、北京に生まれる。父、祖父とも画家。中国北京芸術学校卒業。

昭和 63 年、来日。茂原市内の人と知り合い、長生村に一時在住。茂原市で個展等を開催。

平成 3 年、第 57 回 旺玄会入選。第 59 回の同展では、新人賞受賞(当館蔵)。

平成 5 年、東京国際芸術祭 TIAS(晴海)93 に出展。

平成 8 年、「王子江の絵を茂原市美術館に寄贈する会」により『雄原大地』が、当館に収蔵となり、NHK ドキュメンタリーにて放送、一躍脚光を浴びる。

平成 11 年、奈良の薬師寺に『聖煌』(100m 水墨大障壁画)を奉納、他、全国各地や世界的にも活躍中。

現在 中国芸術研究院研究生院訪問学者、首都博物館画院副院长
全日本水墨画美術協会副会長、北京美術家協会会員、
日本美術家連盟会員、NHK テレビ水墨画講師
東京都在住、アトリエ・ギャラリーを茂原市内に構えて、
拠点を茂原市に移しつつある。



王 子江 画伯



令和 6 年、茂原市からソルズベリー市への贈り物として七夕を描いた作品



「雄原大地」の一部は茂原市立美術館・郷土資料館にて、公開制作（平成8年）



西松屋付近の王子江画伯のアトリエ・ギャラリー
「O 芸術空間」 高師 76-4



『雄原大地』の制作について作者 王子江氏は次のように語っています。
『高さ約2メートルの襖判に日本の和紙を張り、計54枚全幅約100メートルのパネルを仕立てて、創作にかかりました。
愛用の筆大小30本ほどに庭ぼうきを巨筆に代えて使い、墨は中国製の最もいい良質の固形墨を基にした墨汁です。
1日6時間延べ15日間で完成させました。半分は立ったまま観客公開の前で、下図は一切使わず、五体から湧き出るエネルギーをぶっつけて描いていきました。』

作品『雄原大地』は、作者 王子江氏、ならびに「王子江氏の絵を茂原市立美術館に寄贈する会」14名の皆様方のご好意により、平成8年3月に当館へ寄贈されました。